

情報公開文書

研究課題名	直接抗グロブリン試験と血清 IgG 値の関連性
研究体制	☒ 長野赤十字病院が責任研究機関となる ☐ 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関：)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>輸血部 輸血管理課</u> 氏名 <u>春原 俊哉</u> 当 院 所属 <u>輸血部 輸血管理課</u> 氏名 <u>春原 俊哉</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ～ 2024 年 12 月
研究の概要	(研究の意義・目的) 直接抗グロブリン試験は赤血球上の IgG もしくは補体成分を検出する検査法であり、自己免疫性溶血性貧血などの診断に用いられている。 直接抗グロブリン試験が陽性の患者の中には、非特異的に IgG が結合している偽陽性が存在する。 偽陽性患者の多くは、血清 IgG 値が高値を示す傾向があることから、直接抗グロブリン試験と血清 IgG 値の関連性を検討する。
試料・情報	(試料・情報の項目) ・ 年齢・性別・体重・疾患名・投薬歴・血液検査データ (電子カルテより)
研究対象者	2022 年 1 月～2023 年 12 月までに直接抗グロブリン試験を実施した方。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目2番1号 長野赤十字病院 所属 <u>輸血部 輸血管理課</u> 氏名 <u>春原 俊哉</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439